

令和3年度 学校目標

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	○自立と社会参加に向けた一貫性のある教育課程を編成し、学習指導を行う。	①子どもたちの「わかった・できた」をより多く引き出すために、ねらいを明確にした授業実践をし、わかりやすく評価することを目指す。 ②ライフキャリア教育の視点をより強く意識し児童生徒の実態に合った教育課程の編成を行う。	①「学習のねらい」の示し方や、授業後の「評価」方法について、学部研究を通して検討していく。 キャリアアップ班が中心となり、年間計画の中にお互いの授業を見合う機会を数多く設定し、教員同士学び合う中で、学校全体の授業力向上につなげる。 ICT機器の活用を促進する。 ②引き続き学習会や校内研究を通して新学習指導要領に対する理解を深めるとともに、総括連絡会や教務班会等で横断的な議論を重ね、より実態に合った教育課程の編成につなげる。	①子どもたちの「わかった・できた」をより多く引き出すために、ねらいを明確にした授業実践をし、わかりやすく評価することができたか。 ②学校全体としてライフキャリア教育の視点をより強く意識し、児童生徒の実態に合った教育課程を編成できたか。
2	児童・生徒 指導・支援	○個々の障害特性を理解し、生活年齢や発達段階に合った指導・支援を行う。	①児童・生徒の実態を的確にとらえ、刺激の少ない物理的な環境設定の中で指導・支援を行う。 ②学校全体で人権感覚を磨き人権意識を高め子どもたちの人権に配慮した児童生徒指導・支援を行う。	①フロントゼロを意識した教室環境の整備を徹底する。 外部講師や専門職の助言をタイムリーに得られるシステムを確立し、アセスメントに基づく指導・支援を行う。 ②名札を常に着用し、誰に見られても説明できる指導・支援を行う。 「さん付け呼称」を行うことで、後に続く言葉遣いを優しくしていく。	①フロントゼロを意識した教室環境の整備を徹底し、刺激の少ない物理的な環境設定の中で、児童・生徒の指導・支援を行うことができたか。 ②人権に配慮した指導・支援ができたか。
3	進路指導・支援	○卒業後の生活をイメージし、小学部段階から系統性のある進路指導・支援を行う。	①好きなこと・得意なことを、授業や休憩時間の中で見つけ、一人で過ごせる時間を延ばす支援を行う。 ②児童生徒の発達段階を踏まえて、ライフキャリア教育の視点を持った進路指導・支援を行う。	①「わかった・できた」につながる好きなこと・得意なことを担任と家庭が連携して探っていく。各学部と進路指導担当が中心となり、児童生徒の実態に合った余暇の過ごし方について検討し実践する。 ②昨年度の研究成果を活かしながら、小学部から高等部卒業までを見据えた系統的な進路指導・支援を行う。	①家庭と連携し休憩時間や余暇を安心して一人で過ごす方法をみつけることができたか。 ②児童生徒の発達段階を踏まえて、ライフキャリア教育の視点を持った進路指導・支援を行うことができたか。
4	地域等との協働	○共生社会の実現に向け、地域資源の活用、本校の資源の活用等を通し、双方に有益な取り組みを行う。	①パラスポーツ等を通して障害の有無を問わず自然に触れ合う経験をする中で、本校への理解や障害者理解啓発を推進する。 ②センター的機能の役割を果たし、インクルーシブ教育の理解啓発を進めるとともに、湘南台高校との連携を強める。	①コミュニティ・スクールの「切れ目ない支援部」主催の地域とともに創るパラスポーツイベントの企画・運営を行う。 参加者が障害の有無を問わず自然に触れ合う活動を設定する。 ②多くの人に興味を持って閲覧してもらえる内容の充実したホームページを作り、情報発信の精度と頻度を高める。 湘南台高校との連携においては、教育相談コーディネーター、進路担当、生徒指導担当等が定期的に話し合う機会を設け、持続可能な連携システムを構築する。	①「切れ目ない支援部会」主催のパラスポーツイベントを開催し、障害者理解、啓発を進めることができたか。 ②ホームページ更新の頻度は上がったか。湘南台高校との間で持続可能な連携システムを構築することはできたか。
5	学校管理 学校運営	○安全・安心な、事故・不祥事のない学校であるよう管理・運営を行う。	①私費会計の適正な執行や個人情報の適切な管理について徹底し、事故を未然に防ぐ。 ②自分で自分を守る行動がとれる子どもを育てると共に、危機管理能力を高め、組織として子どもを守る的確な判断ができるよう訓練する。	①「不祥事に対するハードルを下げない」を合言葉に、必要に応じた管理システムの見直しを行っていく。 事故防止会議や教職員の綱紀保持の通知、啓発資料等を活用し、未然防止に努める。 ②訓練のための訓練ではなく、実際の災害を想定した「命を守る」行動をとる訓練を実施する。 防災宿泊訓練については、目的を明確にし、コロナ対策を万全にして実施する。	①私費会計の適正な執行や個人情報の適切な管理について徹底し、事故や不祥事をゼロにすることができたか。 ②児童生徒一人ひとりが主体的に考え、様々なシチュエーションに対応できるようになったか。 職員の危機管理能力が高まったか。